

地域再生計画事後評価シート

評価年月日:平成21年4月13日

計画の概要	計画名	とくしま・水のかがやき再生計画	認定回	第3回
			認定年月日	平成17年11月22日
	作成主体	徳島市		
	計画区域	徳島市の全域		
	計画期間	平成17年度～平成19年度		
支援措置	地域再生基盤強化交付金(汚水処理施設整備交付金)			

目標の達成状況	指標名	設定時	目標値	実績値	評価
	汚水処理人口普及率	55% (H17)	59% (H19)	61.2% (H19)	○
	ひょうたん島周遊船の年間乗船人数	13,500人 (H17)	15,000人 (H19)	26,900人 (H19)	○

支援措置を活用する事業	項目	H17	H18	H19	合計	実施状況	
	公共下水道	計画	-	228m	163m	391m	H18は北沖洲三丁目の一部、H19は北沖洲二丁目の一部について、計画どおりの整備を行い、汚水処理人口102人の普及を図った。
		実績	-	228m	162m	390m	
		交付金	-	16,500千円	12,500千円	29,000千円	
	浄化槽 (個人設置型)	計画	490基	800基	800基	2,090基	公共下水道事業認可区域以外の区域について、概ね計画どおりの補助を行い、汚水処理人口9,696人の普及を図った。
		実績	490基	777基	739基	2,006基	
交付金		49,603千円	75,726千円	71,131千円	196,460千円		

※ 翌年度に繰り越した事業については、当年度分の実績に含む。

その他の事業	事業名	実施状況
	便所水洗化資金利子補給事業	下水道終末処理区域内の建物の所有者等が、銀行から資金を借り入れて水洗便所への改造工事を実施する場合の借入金利子に対する利子補給であるが、近年の低金利の影響から利用実績はあがらなかった。
	生活排水浄化対策事業	現在、生活排水浄化実践推進員として100名以上が登録されており、推進員を中心に定期的な啓発活動や講座が行われるなど、市民の水に対する意識の向上が図られた。
	「水が生きているまち・徳島」推進事業	ひょうたん島周辺のみどころを紹介している「ひょうたん島PR紙」を計画期間中に49,332部を配布したほか、各種広報媒体により、本市の水を生かしたまちづくりをPRした。
	吉野川フェスティバル開催費補助	吉野川の河川敷でバーベキュー大会や野外ライブなどのイベントを行い、市民に川に親しんでもらうとともに、吉野川クリーンアップ大作戦として河川敷の一斉清掃を行うなど、市民の河川愛護意識の向上を図った。
水と緑の推進事業	潤いのある環境づくりのため、水と緑の基金の運用益等を活用し、水と緑の図画コンクール、ファミリーハゼ釣り大会、緑化フェア等による「水と緑のフェスティバル」を開催し、計画期間中に延べ14,971人の参加を得た。	

総評及び今後の方向性	本地域再生計画に基づく事業の実施により、掲げた目標については達成することができた。しかしながら、本市の汚水処理人口普及率は、全国平均と比較しても依然として低い状況にあるため、今後も引き続き、公共下水道の整備や合併処理浄化槽の設置促進に取り組み、「水都・とくしま」としてふさわしい水のかがやきを再生していく。
------------	---

地域再生計画事後評価シートの見方

本評価は、地域再生計画の「7 目標の達成状況に係る評価に関する事項」に基づき、目標の達成状況等について公表するものです。

地域再生計画事後評価シート

評価年月日：平成21年4月13日

計画の名称や期間、区域、活用する支援措置など、計画の概要を記載しています。

計画の概要	計画名	とくしま・水のかがやき再生計画	認定回	第3回
	作成主体	徳島市	認定年月日	平成17年11月22日
	計画区域	徳島市の全域		
	計画期間	平成17年度～平成19年度		
支援措置		地域再生基盤強化交付金(汚水処理施設整備交付金)		

「4 地域再生計画の目標」に掲げた目標について、達成状況を記載しています。

指標名	設定時	目標値	実績値	評価
汚水処理人口普及率	55% (H17)	59% (H19)	61.2% (H19)	○
ひょうたん島周遊船の年間乗船人数	13,500人 (H17)	15,000人 (H19)	26,900人 (H19)	○

各目標の達成状況を次の3段階で評価しています。
達成・・・○
概ね達成・・・△
(80%以上)
未達成・・・×

地域再生法又は地域再生基本方針に基づく支援措置を活用する事業について、実施状況を記載しています。

支援措置を活用する事業	項目	H17	H18	H19	合計	実施状況
		計画	-	228m	163m	
実績	-	228m	162m	390m		
交付金	-	16,500千円	12,500千円	29,000千円		
浄化槽(個人設置型)	計画	490基	800基	800基	2,090基	公共下水道事業認可区域以外の区域について、概ね計画どおりの補助を行い、汚水処理人口9,696人の普及を図った。
	実績	490基	777基	739基	2,006基	
	交付金	49,603千円	75,726千円	71,131千円	196,460千円	

※ 翌年度に繰り越した事業については、当年度分の実績に含む。

計画に位置付けた、支援措置を活用しない独自の取組について、実施状況を記載しています。

事業名	実施状況
便所水洗化資金利子補給事業	下水道終末処理区域内の建物の所有者等が、銀行から資金を借り入れて水洗便所への改修工事を実施する場合の借入金利子に対する利子補給であるが、近年の低金利の影響から利用実績はあがらなかった。
生活排水浄化対策事業	現在、生活排水浄化実践推進員として100名以上が登録されており、推進員を中心に定期的な啓発活動や講座が行われるなど、市民の水に対する意識の向上が図られた。
「水が生きているまち・徳島」推進事業	ひょうたん島周辺のみどころを紹介している「ひょうたん島PR紙」を計画期間中に49,332部を配布したほか、各種広報媒体により、本市の水を生かしたまちづくりをPRした。
吉野川フェスティバル開催費補助	吉野川の河川敷でバーベキュー大会や野外ライブなどのイベントを行い、市民に川に親しんでもらうとともに、吉野川クリーンアップ大作戦として河川敷の一斉清掃を行うなど、市民の河川愛護意識の向上を図った。
水と緑の推進事業	潤いのある環境づくりのため、水と緑の基金の運用益等を活用し、水と緑の図画コンクール、ファミリーハゼ釣り大会、緑化フェア等による「水と緑のフェスティバル」を開催し、計画期間中に延べ14,971人の参加を得た。

目標の達成状況や事業の実施状況を踏まえて、全体の評価と今後の方向性を記載しています。

総評及び今後の方向性	本地域再生計画に基づく事業の実施により、掲げた目標については達成することができた。しかしながら、本市の汚水処理人口普及率は、全国平均と比較しても依然として低い状況にあるため、今後も引き続き、公共下水道の整備や合併処理浄化槽の設置促進に取り組み、「水都・とくしま」としてふさわしい水のかがやきを再生していく。
-------------------	---